



2022年7月18日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース第74号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。今週のカカオニュースを配信させていただきます。

### 1. 欧州のカカオ磨砕数量、第2四半期は前年同期の2%増加(7/13)

欧州ココア協会が発表したデータによると、第2四半期のカカオ豆の磨砕数量は前年同期比2%増となった。第2四半期に処理された豆の量は36万4081トンで、第1四半期の37万3498トンに比べ僅かに減少した。ドイツ単体での磨砕数量は第2四半期にで昨年対比3.7%増の96,499トンであったとドイツ菓子産業協会(BDSI)がホームページで発表した。

### 2. マレーシア第2四半期カカオ磨砕数量、前年同期比5.7%増の92,331トン(7/14)

マレーシア・ココア委員会とカカオ磨砕製造会社のグループからの電子メールによる声明によると、第2四半期のカカオ豆磨砕数量は前年同期の8万7328トンから5.7%増の9万2331トンとなった。

### 3. アフリカ・カカオ UPDATE :コートジボワールの生産者は、雨が止んで一息(7/12)

- カメルーンでは豪雨により洪水が発生。
- 生産者は肥料不足と投入コスト高を懸念

世界最大のカカオ生産国コートジボワールでは、先週まで農道を破壊した豪雨が弱まり、生産者は次回の収穫シーズンに向けて準備することができるようになった。ガーナの東部国境にある生産者のKoffi Koua氏は、未熟なカカオのさやについて、「カカオの実は順調に成長し、来シーズンの豊作を約束している」と述べた。

それでも、国内の他の地域の生産者の中には、10月に始まるメインクロップのシーズンを前に、肥料を待つ時間の長さや、燃料や殺虫剤のコスト上昇を懸念している人も沢山いるという。

コートジボワールとの南西の国境にあるYakaseの町の実産者、Francis Agyebeng氏は、先週は穏やかな雨と日照が作物を助けたにもかかわらず、コストの上昇は第2位の生産国であるガーナの実産者にも及んでいると語った。

「農業作物用の化学薬品や燃料のような投入物の高騰にまだ悩まされており、肥料の不足が我々の窮状を悪化させています」と彼は言った。

別の、西アフリカの他の地域では、ナイジェリアのカカオ農園は降雨と日照が完璧に調和し、カカオの生育を助けていると報告。ナイジェリア南東部Bende LGAのカカオ生産者Loveday Kalu氏は、「今期の天候は以前より安定しており、良好です」と述べています。「農園は明るく新鮮な花で溢れ、いくつかの農園では8月に収穫を迎えるカカオの実を成熟させています。

一方、カメルーンでは、集中豪雨が続けている。いくつかの農村で洪水が発生し、2人が死亡、多くの人が避難し、農場全体が流された。

カメルーン南西部 Likomba の生産者、Nalova Christina は、「雨は、私がカカオによりやく散布したばかりの殺虫剤を流し、シーズン初めに植えた若いカカオの木のをいくつかを根こそぎ台無しにしました」と述べた。

#### 4. バリー・カレボー社ヴィース工場、8月上旬に最初のチョコレート生産ラインを再開へ(7/15)

バリーカレボーは本日、サルモネラ菌陽性のレシチンの混入により影響を受けたチョコレートラインの洗浄作業が順調に進んでいることを発表し、その結果、洗浄された最初のチョコレートラインは、2022年8月初旬に生産を再開する予定だと発表した。また、その後、数週間かけて徐々にフル生産体制に移行する予定。

バリーカレボーは、2022年6月27日、ベルギーのヴィーゼ工場でサルモネラ菌陽性のチョコレート製造ロットを検出し、サプライヤーからのチョコレートに使用している乳化剤のレシチンのあるロットが原因であることを迅速に特定しました。これを受けてバリーカレボー社は、予防措置として2022年6月29日にヴィーゼ工場でのチョコレート生産をすべて停止し、影響を受けたチョコレート製品が小売店のフードチェーンに入ることがないように対策を講じた。

この一連のプロセスをバリーカレボー社は、ベルギー食品安全局 (FAVV) に正規にかつ積極的に報告し、この件に関して継続的な協力を行っています。

食品の安全性はグループにとって最も重要なものであり、今回の事故は例外的なものです。バリーカレボーには食品安全に関するあらゆる認証とそれを行うための手順があるだけでなく、ヨーロッパと日本で食品安全と品質に携わる230人以上の同僚がいます。

また、欧州では230名以上、世界では650名以上の従業員が食品安全と品質に取り組んでいます。更に、ヴィーゼの工場では、従業員は食品安全のリスクを認識するための徹底した訓練を再度受けます。

参照) バリーカレボー社の7月15日付のプレスリリースを元に和訳、編集、要約を行ったもの。

#### 5. ナイジェリアは2021年に5億ドル相当のカカオ豆を輸出-NEPCが発表 (7/15)

ナイジェリア輸出促進協議会 (NEPC) は、イモ州政府と協力し、カカオ豆とカカオ製品の生産と輸出を強化していると述べた。

NEPCのイモ州貿易促進アドバイザーであるアンソニー・アジュルチ氏は、木曜日に州都オウエリで開催された輸出向けカカオ生産・加工におけるグローバルベストプラクティスに関するワークショップで、このように述べました。

アジュルチ氏は、「輸出のためのカカオ生産の可能性を最適化する」というテーマで講演し、2021年には同国から5億ドル(≒約700億円)相当のカカオ豆を輸出したと述べました。彼は、ブラジル、中国、オランダ、ベルギー、ドイツ、マレーシア、ベトナム、米国、英国などの輸出先で利用できる大きな可能性を利用するよう、国内の輸出業者に促しました。

「付加価値の高いカカオ製品には大きな可能性があり、その価値は世界全体で120億ドルに上ります」とアジュルチ氏は述べています。

「世界市場で正当な地位を占めるためには、世界の生産量に占めるシェアを拡大することが必要です。

「イモのココア生産者が正しいことをするようにする必要があります。彼らは、付加価値と富の生成のために高品質のカカオ豆の生産に参加する必要があります」。

また、農業委員会の Barthy Okorochukwu 氏は、州政府は「カカオの最適な生産、加工、輸出のために」NEPC 協議会と提携する用意があると述べました。州政府は雇用の創出や外貨の獲得につながるため、消費よりも生産に力を入れるよう住民に呼びかけ、「私たちは、消費だけでなく、輸出のための換金作物の生産と加工を再認識することに取り組んでいます」と述べた。

そして、「カカオは生産するだけでなく、更に加工することで外貨を獲得し、雇用を生み出すことができる。だからこそ、カカオに関係する産業を回復させるという大義にこだわり続けているのだ」と述べた。

## 6. XAG ドローンがカカオ農園の雨天時の病害対策に貢献(7/13)

エクアドルのカカオ生産者では、最高級チョコレートを生産するための持続可能なカカオ生産を実現するために、XAG の農業用ドローンが採用され、繁忙期の労働力不足を緩和しています。

多くの農園が効率性の向上と収益性の維持に苦心する中、生産者は現在、雨季に繁殖する植物病害に対抗するためのより良い解決策を模索しています。XAG のドローン技術はエクアドルのカカオ園に踏み込み、雨の後にタイムリーに散布し、信頼できる効果でカカオの実を収量減から守っています。



### 傾斜地の農園でより効率的な散布を実現するソリューション

世界有数のカカオ輸出国であるエクアドルは、シングルオリジンチョコレートの主原料である高品質なカカオ豆の産地としてトップクラスの評価を得ています。同国ではカカオ生産者の9割以上を小規模生産者が占めていますが、カカオ価格の下落傾向や気まぐれな天候の影響で、収量維持が難しい状況が続いています。

今季、エクアドルの生産者は、果樹への農薬や肥料の散布にドローン技術を採用することに挑戦しています。

XAG の現地パートナーである Megadrone は、エクアドル第2の都市グアヤキルにある180ヘクタールのカカオ農園に農業サービスチームを派遣し、管理を行いました。人件費の増加に対応するため、散布の代替ツールとしてドローンを活用したのです。

カカオ農園は山の上にあり、傾斜と起伏のある地形のため、大型の機械が届きにくい。例年、作物への散布や肥料の散布は、ほとんどが雇われ労働者の手作業で行われていました。十分な人手をかけても、畑全体をカバーするのに1カ月以上かかっていました。

今年4月にドローンが導入されたことで、カカオはより持続可能な方法で栽培されるようになり、気候変動にも強くなった。作業中、XAG Pシリーズ農業用ドローンには、葉面散布用肥料と殺菌剤が満タンで搭載されていました。斜面から離陸し、茂みの上を飛行してカカオの木に正確に散布しました。

プロペラの下で強力な下降気流により、薬液の液滴は植物全体に運ばれやすく、葉に均一に付着させることができました。2台のXAG農業用ドローンは、180ヘクタールのカカオの果実全体に3~4日で散布することに成功。

### カカオを雨季の病害から遠ざける

雨季になると、手作業は気候の変化の影響を受けやすく、生産者は害虫駆除や病気予防のための散布の最適なタイミングを逃してしまうことがよくあります。このグアヤキルのカカオ農園では、少なくとも2カ月は高温多湿の気候が続き、植物の栄養損失が加速され、病気が蔓延するリスクも高まります。

ドローンを使うことで、カカオ生産者は大雨の後、タイミングよく殺菌剤を散布し、肥料を与えて成長を促進することができる。また、人の操作による空中散布だけでなく、カカオの木の複雑な地形に対応するために、ドローンを完全自動化することも可能です。

「さらに、XAGの農業用ドローンは、ほとんどの人が簡単に操作することができます。パイロットは、ドローンを発射する前に、モバイルアプリで飛行経路を計画し、パラメータを設定するだけです。これなら高齢の作業員でも簡単に習得できます」と農園主は語ります。

エクアドルのカカオ農園は今後3カ月、カカオポッドの豊作に向けて、葉面散布や殺虫剤散布が必要な重要な時期を迎える。ドローンの高い敏捷性と効率性は、カカオ生産者が世界市場で賞賛される香り高いカカオ豆を生産することを強力にサポートすることができそうだ。

## 7. NY ココア先物市場、ボリンジャーバンドの下を通過 (7/15)

ICE ココア 9月限はボリンジャーバンドの下限を下回り、売られ過ぎの可能性を示唆している。

・過去1年間で、現在最も活発なカカオの先物取引はこのボリンジャーバンドの下限を8回下回り、その後20日間で平均1.1%上昇した。(過去1年間の価格の動きとボリンジャーバンドの下限を下抜けた際の動きは下記のチャートを参照)

- ・ICE ココア 9月限は200日移動平均線を下回り、50日移動平均線も下回っている
- ・昨日のココア先物は2.4%下落の2,247ドル/MT

### **【過去8回のイベント(≡下抜けた)後の値動きの状況】**

	上昇	下落	合計回数
イベントの回数	4回	3回	8回
平均リターン率	4.4%	-3.2%	1.1%

上記のリターンの計測は、ボリンジャーバンドの下限を下抜けた後の20日間の値動きを計算し、平均として上昇したのか、下降したのかを示したものである。平均すると1.1%の上昇が見られたことになるが、上昇するか、下降するかでいえば4回と3回であり、下のチャートの値動きからは、イベントの後には一度上昇するが、1-3か月毎のトレンドで見れば全体のトレンドはやや下降圧力に強いことが見て取れる。



## 8. コートジボアール新物、7/4-7/10 の週間着荷数量は 21,484 トン (7/11)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、21,484 トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は 13,370 トンであった。10 月 1 日のシーズン開始からの総着荷数量は、約 232 万トンとなっており、過去最高であった昨年同時期の推定値 233 万トンに近い数字

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボアのグループ企業である Saco 社や、Olam International の関連企業である Outspan, や Cargill などの企業である。

以下は、10 月 1 日から 7 月 10 日までの上位各社の購入量 (単位：トン) の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	309,795
Saco 社(バリーカレボアグループ)	295,161
アウトスパン(Olam グループ)	289,748
Touton 社	146,696
S3C 社	143,969
その他企業	1,130,480
合計	2,315,849

## 9. 特集記事： シェラレオネに初のカカオ工場が誕生 (7/14)

～同国で初めてカカオの加工可能になり、地元生産者への支援とアフリカの製造能力の向上に貢献～

シェラレオネは、同国の重要な産業から得られる利益を自国に還元し、何千もの地元生産者の生活を改善するために、同国初のココア加工工場を開設しました。

10 月 23 日、ジュリアス・マダ・ビオ大統領が出席した式典では、東部のケネマ村にある新しい工場の機械が動き出し、国や経済にとっての「大きな一歩」であると述べました。

この工場では、年間最大 4,000 トンのカカオ豆を加工することができ、これは同国の年間生産量のおよそ 4 分の 1 に相当します。これは大きな前進だが、世界最大のカカオ生産国であるコートジボワールやガーナと肩を並べることはできない。彼らは長年にわたってカカオ豆を粉砕、焙煎、研磨し、チョコレートの製造に使われる甘みのないカカオマスに加工してきたのだ。

2015 年に初の工業規模のチョコレート工場を手に入れたコートジボワールは、現在、世界市場の 40% 以上に相当する年間 200 万トンのカカオ豆を生産し、2 年以内に国内加工能力を 120 万トンに引き上げる計画を持っています。

Capitol Foods Limited が建設したシエラレオネの新施設は、半製品をヨーロッパの大手カカオ製品バイヤーやショコラティエに、未加工カカオ豆の販売価格より 20% 高く輸出すると、工場オーナーの Capitol Foods Limited の CEO、ハムザ・ハシム氏は話します。

この加工工場は、先進国に原料を輸出する代わりに天然資源から利益を得るという大陸の戦いにおける小さな勝利を意味する一方で、地元のカカオ生産者がその土地、作物、技術の可能性を解放するのを助けるものでもあると、ハシムは言う。



ケネマ村のキャピトル・フード工場で完成品を検査するシエラレオネのジュリアス・マーダ・ビオ大統領とハムザ・ハシム氏。

このプロジェクトは、シエラレオネ・アグリビジネス開発基金 (SLADF) からの 60 万ドルの支援を受け、カカオ生産者がその重労働からより多くの価値を引き出せるように設計された 290 万ドルのプロジェクトの一部として構築されました。

まず、より良いカカオの苗木、有機作物認証、農業トレーニング、事業拡大のための融資などで生産者を支援し、豆の仕入れ先である約 2,800 軒の生産者の収穫量と品質を向上させることを目的としています。また、このプロジェクトは、世界のココア市場で生産者がより高い価格を確保できるよう支援するものであると、彼は述べています。

## SWEET Dream

このプロジェクトは、10年にわたる内戦の長期的な影響から回復しつつある同国の低迷するカカオ産業を再活性化の一助となるかもしれません。2002年に銃声が聞こえなくなったものの、戦争中にカカオ農園が放置されたため、生産量の回復には長い時間がかかりました。

OECの貿易データサイトによると、シエラレオネは2019年に3320万ドルのカカオ豆を輸出し、世界で17番目のカカオ豆輸出国となっている。西アフリカの他の地域では、コートジボワールが年間38億ドル、ガーナが16億ドル、ナイジェリアが7億1500万ドル輸出している。

カカオ豆は同国の第5位の輸出品目であり、その大部分はオランダ向けである。その他の輸出先には、ベルギー、アメリカ、イタリア、マレーシアなどがある。

次のステップは、国内で初めてチョコレートを製造することだ、とHashimは言う。

“2022年内にチョコレート、バター、パウダーを製造できるよう工場をアップグレードする計画があり、北米や中東への輸出市場の拡大も視野に入れていきます”

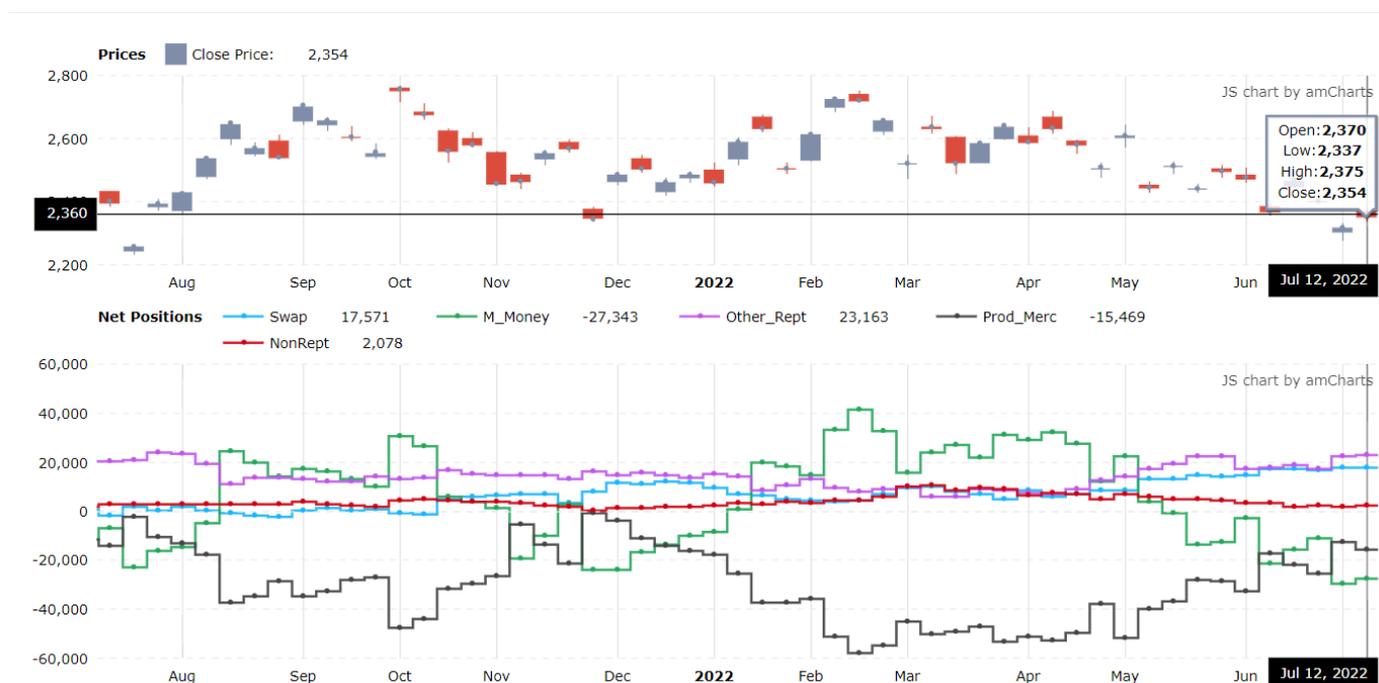
## 10. ファンド勢のNY先物は純売り越しポジションを減らす(7/16)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋(Managed Money)は今週、純売り越しポジションを2,530ロット減少(先週は18,616ロット増加)させ、26,879ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、7月12日)の取引が含まれている。

- 総買い数量は 2,971ロット減少し(先週は901ロット減少) し、62,037 となった。
- 総買い数量は、過去7週間で最も少ない数量
- 総売り数量は 5,501ロット減少し(先週は17,715ロット増加) し、88,916 ロットとなった。

## 参考分析資料；過去1年のNY市場の実需家VS投機筋のポジションと相場価格

### Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

緑・・・ヘッジファンドなどの資金運用者

水色・・・投資銀行などスワップディーラー

## 11. ファンド勢のLDN先物は純売り越しポジションを減らす(7/16)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、先週の純純売り越しポジションを減らし5,971 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、7月12日)の取引が含まれている。

- 純売りポジションは過去6か月で一番多い数字(≒最も売られ過ぎ)の状態。
- 総買い数量は今週139ロット増加し(先週1,790ロット減少)し、18,928ロットとなった。
- 総売り数量は今週2,637ロット減少(先週は**7,877ロット増加**)し、24,899ロットとなった。

### 参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

#### Commitments of Traders Futures and Options

##### ICE Futures Europe

12/07/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
12/07/2022	288656	171083	172036	31802	32234	19211	18928	24899	10206

#### Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader

12/07/2022	100%	59.3%	59.6%	11.0%	11.2%	6.7%	6.6%	8.6%	3.5%
------------	------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------

#### Number of Traders in Each Category

12/07/2022	144	51	43	12	10	11	18	23	14
------------	-----	----	----	----	----	----	----	----	----

## 12. 新商品情報：OFIのオーガニックココアパウダーがIFTで販売開始(7/14)

週刊カカオニュースの配シカゴ-オラム・インターナショナルの事業会社であるOFIは、7月10日から13日までシカゴで開催された食品技術者協会の会議・展示会であるIFT FIRSTで100%分別の有機ココアパウダーを発表しました。デジアンマスター01(011DQ)ココアパウダーは、オーガニックであることを保証するために、完全に分離されたサプライチェーンを通じて農作物、調達、加工されています。

このココアパウダーは、乳製品、製菓、焼き菓子など、さまざまな用途に使用することができます。OFIのIFTブースでは、デザート・マスター01ココアパウダーを使用したグルテンフリーのダブルチョコレートチップクッキーを試食しました。

カカオニュースの配信の削除、追加のご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)

\*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。